

第48回日本重症心身障害学会学術集会

重症心身障害医療と福祉に新しい風を！

— 地域共生社会の実現に向けて —

日本重症心身障害学会学術集会で発表しました！

令和5年（2023）10月26日（木）、幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）にて、『重症心身障害児（者）病棟の身体拘束解除を困難とする要因』について学会で発表させていただきました。看護師は、身体拘束に対する葛藤を抱えながらも、「生命を守る使命やインシデントにつながるのではないか」という不安を抱えています。また、長期入院となると、身体拘束に至った経緯が認識されていないこともあり、思い込みにより適切な評価ができていないという結論が、得られました。

今回の研究の学びを活かし、日々の看護を見直し、専門性の高い看護を目指し実践していきたいと思っております。



西病棟2階は、重症心身障害児（者）病棟です。人工呼吸器や経管栄養等医療的ケアを必要とする患者さんが過ごされています。

徳永副院長も応援に駆けつけてくださいました

緊張しましたが無事に発表を終えました！

